

シンデレラ —玉の輿物語を比較文学的に考える—

哀れな境遇の女性が、ハンサムで優しく裕福な男性に見初められて結婚し、幸せな人生を歩む—
すなわち「シンデレラ」は、古今東西、永遠の人気物語である。

とりわけ女性が「結婚」によってしか、その存在を認められなかった時代においては、夫の地位のみが自分の社会的立場を保証してくれたのだ。つまり、ハズバンド・ハンティングは、「女の一生」を決定した。女性が皆、とりあえず「白馬に乗った王子様」に憧れたのは、当然の成り行きだろう。

しかし女性が社会進出を始め、その社会的アイデンティティが夫に帰属する必要がなくなると、「シンデレラ」は「セレブ男性を射止めた女性」から「自己実現を遂げた女性」に変容してゆくのではあるまいか。もちろんそこには、なんらかのコマーシャルイズムが働いている場合もあるのだが。

そこで、そんな変化が見え始めた現代において、あらためてクラシックな「シンデレラ」をもとに、さまざまな「玉の輿」物語について、比較文学的な視点から考えてみたいのである。

- ❀ 日時 2015年12月12日(土) 14:00~16:00 (13:30開場)
- ❀ 会場 大阪府立大学 I-site なんば
- ❀ 講師 堀江 珠喜 (大阪府立大学教授)

- 対象 どなたでも
- 参加費 500 円 (大阪府立大学 学生・教職員は無料)

申込方法

氏名(ふりがな)、住所、電話番号を記して、Eメール
またはFAXで下記までお申し込みください。

*お申し込みの際の個人情報、応募後の事務連絡、統計資料等の作成
および本学公開講座等のご案内に使用いたします。利用目的以外の
使用については、一切いたしません。

申込先

大阪府立大学 女性学研究センター
Eメール: joseigaku@gmail.com
FAX: 072-254-9947

当日参加も可能ですが、資料準備の都合上、できるだけ
事前にお申し込みください。

【問合せ先】大阪府立大学 女性学研究センター
〒599-8531 堺市中区学園町 1-1
TEL: 072-254-9948
(土日・祝日を除く、14:00~17:00)



【大阪府立大学 I-site なんば】 大阪市浪速区敷津東2丁目1番41号

- ◆ 南海電鉄「なんば駅(中央出口)」より徒歩約12分
- ◆ 地下鉄御堂筋線「なんば駅(5号出口)」より徒歩約15分
- ◆ 地下鉄御堂筋線・四つ橋線「大国町駅(1番出口)」より徒歩約7分
- ◆ 地下鉄堺筋線「恵美須町駅(1-B出口)」より徒歩約7分